



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

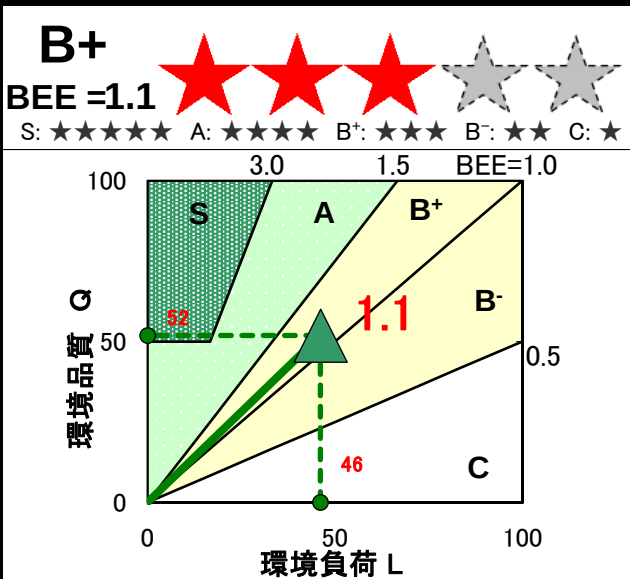
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪学芸高校 新校舎 新築工事		
建設地	住吉区長居1丁目		
建築用途	高等学校		
建築主			
設計者			
敷地面積	10,519.33	m ²	
建築面積	1,712.80	m ²	
延床面積	3,821.80	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上3階
完了年(予定)	2027年8月		

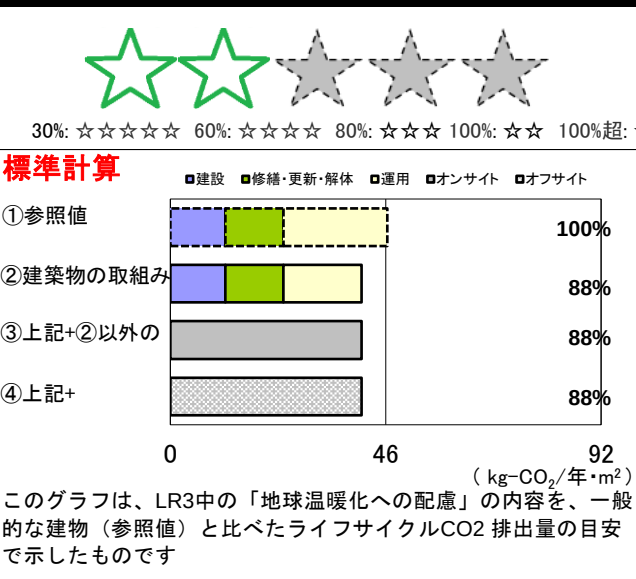
1-2 外観



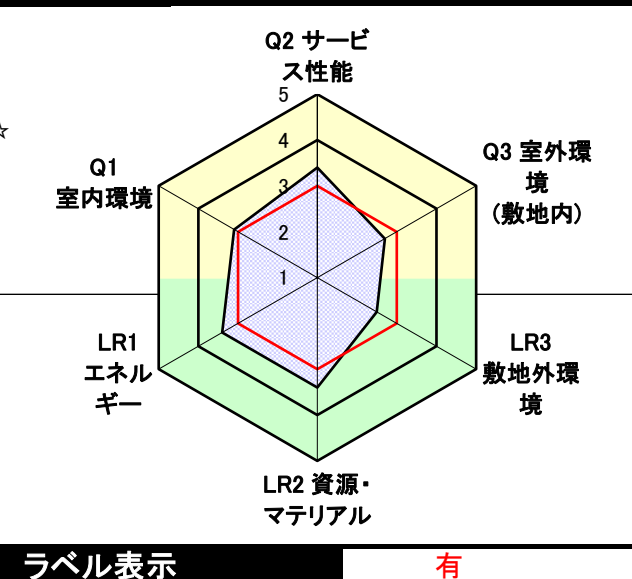
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



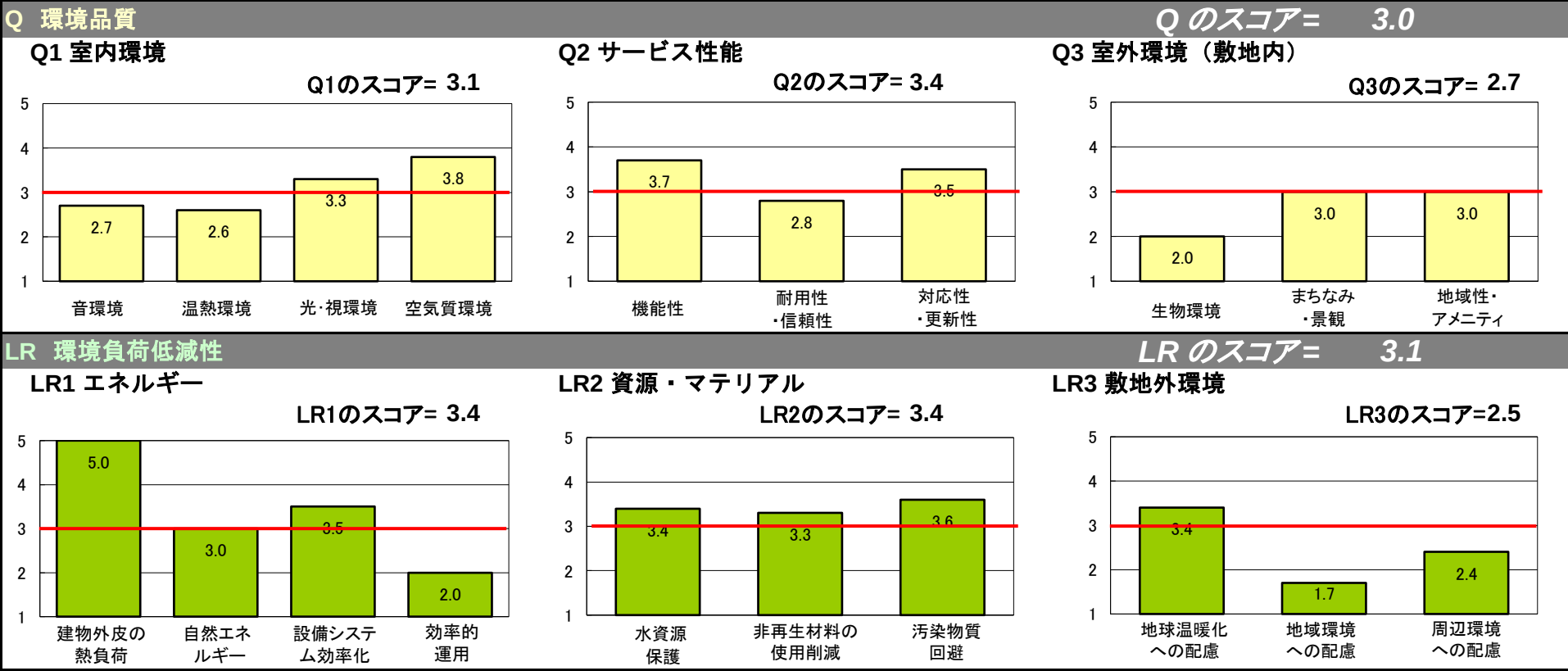
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 近隣建物への影響を極力小さくできるよう、新校舎は低層の計画とし、緑地を多く計画している。また前面道路から後退して新校舎を配置したり、既存校舎との間にプラザを計画したりすることで、周辺建物への圧迫感の低減や生徒の憩いのスペースとしての活用できるように配慮している。		その他 特になし
Q1 室内環境 生徒が使用する頻度の高い普通教室は、極力南側に配置した。また南面に大きな開口を設けることで、教室が明るくなるように配慮した。	Q2 サービス性能 教室の天井高さは2.8mを確保し、快適性のある計画とした。また各トイレにSKを設け、清潔な環境を維持できるように配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 既存の樹木を残すことで、生物環境の保全に配慮した。また新たに植栽を計画することで、適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー BEIm=0.75を取得し、建物の環境負荷を低減している。	LR2 資源・マテリアル 衛生機器には節水型器具や擬音を採用し、環境に配慮している。また躯体材料以外でリサイクル材を使用し、環境に配置した計画としている。	LR3 敷地外環境 敷地内の舗装に透水性のある素材を使用し、雨水流出対策を行っている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	1.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.5
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	- (相当)	0.69
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.75	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.75